

吹田市総合計画審議会（第1回） 議事概要

- 1 日 時 平成24年11月16日（金）午後6時30分から午後8時5分まで
- 2 場 所 吹田市役所 高層棟4階 特別会議室
- 3 出席者 別紙（出欠表）参照
- 4 配付資料 資料-1 吹田市総合計画審議会委員名簿
資料-2 吹田市総合計画審議会規則
資料-3 吹田市審議会等の運営に関する指針
資料-4 吹田市総合計画審議会の傍聴に関する取扱い基準（案）
資料-5 吹田市総合計画審議会の運営について（案）
資料-6 吹田市総合計画策定組織図
資料-7 吹田市第3次総合計画見直しスケジュール
資料-8 吹田市第3次総合計画見直し基礎資料集
資料-9 平成22年度（2010年度）吹田市市民意識調査報告書
資料-10 吹田市第3次総合計画
追加資料 諮問書の写し
吹田市総合計画基本構想（素案）
（参考資料）吹田市総合計画 吹田2020ロードマップ
- 5 委嘱状の交付
- 6 市長あいさつ
- 7 委員の紹介
- 8 市職員の紹介
- 9 会長及び副会長の選任
今川委員が会長に、久委員が副会長に選任された。
- 10 審議会の傍聴に関する取扱い基準（案）について
審議会の傍聴に関する取扱い基準（案）について承認された。
- 11 諮問
- 12 審議会の運営について
会議録の公開、部会の設置について、承認された。
- 13 総合計画基本構想（素案）について

総合計画基本構想素案について、資料6、7、8、9ならびに吹田市総合計画基本構想(素案) 参考資料を用いて、事務局から説明があった。

【審議事項】概要

A委員:「吹田2020ロードマップ」の8ページ、基本構想、基本計画と実施計画の間に、中期計画を入れなかったのはなぜか。また計画期間の7年という意味合いは。

事務局:基本計画の中で、構想に掲げる目標を具体化するための方法を挙げる。実施計画については、現在は5年間で定めているが、ローリング方式で行うので毎年見直しになる。計画期間の7年というのは、現行計画の目標年次に合わせたもの。中間見直しとして、残りの7年間で計画していく計画。

A委員:中期計画は実施計画の中に入っていることでいいか。また、実施計画は5年の期間ということか。

事務局:実施計画は毎年見直していく。

A委員:実施計画の中に中期計画的な内容と毎年の事業の内容が入っているということか。

事務局:3か年なら3か年の計画を行い、翌年度は予算を反映していくということ。

B委員:第1次総合計画は箱ものを中心だったが、今回は精神的、抽象的な事柄が中心のようだ。第2次総合計画のハード面の事業が一部挙げられていないようだ。また、千里ニュータウンの活性化が入っていないようだがいかがか。

事務局:千里ニュータウンについては、「吹田2020ロードマップ」の27ページの「(4)地域の特性を生かした魅力ある都市空間の形成」で言及している。3行目に、「多世代交流などコミュニティが活性化する環境づくりをめざす」と掲げている。

会長:社会状況が目まぐるしく変化している中での計画なので、次回以降部会で掘り下げていきたいと思う。

副会長:「吹田2020ロードマップ」の34ページの「第5章将来像の実現に向けて」は重要なポイントであり、事務局の説明でも人が重要という話があった。仕組みだけではなく、人材づくりも重要なので、人材の話を書き込んでどうか。今後の話し合いの中で、そういう議論が出てくれば入れたい。職員の能力アップのほかにも、市民のクリエイティブさを活かすようなことができればいいと思う。人材の能力アップを強調したい。

C委員:健全な財政運営については、他の色々な計画にも関連していると思う。人材開発についても記載されているだろう。次回以降は総合計画に関連する市の計画について情報提供いただきたい。

会長:必要な情報提供いただくので、お気づきの点があれば事務局まで寄せていただきたい。人材育成の点については、部会での審議をお願いしたい。

D委員:「吹田2020ロードマップ」の25ページの、将来像の実現に向けた道筋、ルートはそれぞれが関連しているうえに、ルート1はルート2以降の土台になるものだと思う。その関連性の整理が必要。

事務局：一つの枠組みとして今回整理した図。ルートは確かにそれぞれ密接に関連している。部門の計画があるが、それが密接に関連する計画が総計であり、関連性を大事にしなければならない。

A委員：「吹田 2020 ロードマップ」の26ページ、「第2章人口と都市空間」で、平成32年度の将来人口を35万5千人とした根拠は何か。

事務局：人口の推計を行ったデータに基づいている。一般的に用いられるコーホート要因法を用いた。現状の開発で確実に建っている部分を分析し、上乘せして推計した。ただし何も対策しなければ人口は減少するとされているので、住み続けたくなる定住施策を打ち出して35万5千人をめざそうとしている。

A委員：魅力的なまち、快適なまちということで定住が進む。マスタープランの内容によって大きく変わってくる。ニュータウンや開発地の状況を踏まえたくて書かれた内容だと理解した。

E委員：「吹田 2020 ロードマップ」の25ページの図、7つのルートと2つのエンジンがあるのは、道を走る車があって、そのエンジンというイメージだと思うが、しっくりこない。34ページはベースという言葉が使われているが、表現は統一された方がいいのでは。

会長：総合計画見直しの最初の思いがあれば、事務局から説明してもらいたい。

事務局：現在は社会情勢が厳しいが、だからこそ何を大事にするべきかを突き詰めて考える時。担当者としての思いだが、大切にすべきなのは、人だと考えている。力を合わせてやっていくという、つながりを大切にしたい。「吹田 2020 ロードマップ」の25ページの「人・まち・元気創造都市 すいた」を実現するために、人を大切にしたい、優しさなどを重要視したい。

会長：今後の議論はその辺りを考慮したい。

F委員：今話題になっているガンバ大阪のスタジアムの話が入っていない。

事務局：吹田の特徴ともいえる場所については、「吹田 2020 ロードマップ」の27ページの「(4) 地域の特色を生かした魅力ある都市空間の形成」に記述している。万博記念公園周辺は、市内外の人と交流しにぎわいと憩いを醸し出す空間をめざすとしている。具体的にガンバ大阪の名前は挙げていないが、内容的にはここに含んでいる。

A委員：「吹田 2020 ロードマップ」の24ページ、まちの将来像で、「住」「働」「楽」を掲げているのは市民目線だと思う。しかし都市魅力は市民からの立場だけでなく、市外から訪れてもらうという要素を意識する必要がある。交流の要素を入れてはどうか。

会長：今いただいた指摘は部会で審議していただきたい。

G委員：全体的に苦慮して作成されていると思う。「吹田 2020 ロードマップ」の24、25ページはバランスよくまとめられている。ただ、「人・まち・元気創造都市 すいた」は、「すいた」のところを他都市に替えても問題なさそうな内容になってしまっている。一言で言うと吹田市はどうなのかを言い表すべきところ。万

博のような、日本を代表するスポットがあるのでそれを打ち出していくのか、個別計画を総合する計画として作成するのか、事務局の姿勢を教えてください。

事務局：吹田の魅力については議論を行い、市民ワークショップでも市民の意見を出してもらった。その中に何でも揃っているまちという意見があった。何でも揃っているという、特徴のないことが特徴という面もある一方で、万博記念公園についても挙げられていた。現在はニュートラルな計画になっているので、皆さんの意見をお聞きしてギアを入れていきたい。

副会長：吹田市には土地勘があり、また20数年市民活動に関わらせてもらっている。駅が多い、拠点がありすぎて分かりにくいともいえるまち。しかし吹田は地域性があるし、色々な都市核が集積しつつバランスを取っているの、ある地域に特化するのが難しいのではないかと。どういう絞り込み方がいいのかは今後の議論が必要。

会長：これからの議論のポイントになるので意見を出していただきたい。

C委員：「吹田 2020 ロードマップ」の8ページの計画期間の図では、基本構想、基本計画、実施計画とは別に総合計画があるように見えてしまう危険性がある。現行計画の図と整合性が取れるように整理した方がいい。

事務局：平成25年度に中間年度の見直しを予定していた。「吹田 2020 ロードマップ」の3ページにあるように、社会経済状況が変わってきており、平成23年の地方自治法改正により基本構想策定義務が撤廃となった。計画の役割を再度検討し、7ページでは協働と適切な役割分担のもとでまちづくりを進めていくうえにおいて共有すべき指針であるとした。

C委員：今の話はよく理解できるので、抜本的であることがうまく表れるように図を修正してはどうか。

会長：市民に分かりやすく修正していただきたい。

1.4 その他

議事録を委員に確認いただく旨連絡があった。

会議録の確認、日程調整については電子メールを活用して行う旨承認された。使用できない環境であれば、電話や書面で連絡される。

審議会は基本的に2時間程度行われるが、今後の議論によっては延長もあり得る旨会長より連絡があった。

平成24年度(2012年度)吹田市総合計画審議会出欠表

別紙

区分	氏名	略歴	第1回 11/16
1号	今川 晃	同志社大学 政策学部 教授	
	生形 貴重	千里金蘭大学 生涯学習センター長(教授)	
	島 善信	大阪教育大学 教職教育研究センター長(教授)	
	高橋 智幸	関西大学 社会安全学部 教授	×
	寺本 尚美	梅花女子大学 現代人間学部 教授	
	久 隆浩	近畿大学 総合社会学部 教授	
	松尾 貴巳	神戸大学大学院 経営学研究科 教授	
	的場 智子	細川・的場・川田法律事務所 弁護士	
2号	今泉 篤	公募市民	
	木下 裕介	公募市民	
	小林 俊範	公募市民	
	辻本 武彦	公募市民	
3号	坂本 富佐晴	吹田市文化団体協議会 会長	
	瀧川 紀征	吹田商工会議所 副会頭	
	立川 浩次	社会福祉法人 吹田市社会福祉協議会 会長	
	田中 勲	吹田市PTA協議会 会長	
	田中 脩	アジェンダ21すいた 幹事	
	津田 緑	一般社団法人 吹田市医師会 理事	×
	永田 昌範	吹田市自治会連合協議会 会長	
4号	酒井 隆行	大阪府政策企画部企画室 室長	
出席委員合計			18名
市長			
事務局	副市長		富田、山中
	行政経営部		太田、美馬、井尻
	総合計画担当		木下、岸本、津田、十川、稲見
	委託事業者		依藤